

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 花園2号館		
○保護者評価実施期間	令和7年3月3日		～ 令和7年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者さん個々の障がい特性や相性を考慮した活動プログラムを職員間でしっかり話し合い立案していること。	活動に飽きが来ないように、お楽しみと療育のバランスをとった活動を行っています。平日は習慣活動、長期休暇中は平日にできない活動や社会性を育む活動をしています。	平日は学校終了時間が利用者さん個々で異なるので、活動時間の調整が難しかったり、長期休暇中は逆に時間が長過ぎて利用者さんの集中が途切れることがあるので、日々改善策を検討し活動内容を工夫していきます。
2	軽度障がいの利用者さんが多いため、日常力や社会性、適応力に焦点を置いた療育を心がけていること。	メモを取る練習や自分で物事を調べる練習、提出物をしっかり提出するといった、学校生活や社会生活で必要となる力をつけるための療育を行っています。	利用者さん個々にできることとできないことの差がかなりあるため、少しでもそのギャップを狭めることができるような療育プランを考えていきます。
3	障がいあってもなくても良い事は良い、悪い事は悪いをしっかり教えるようにしています。	支援員側の一方的な感情を押し付けず、利用者さんに納得してもらえよう、丁寧な対応を心掛けています。	利用者さん個々に沢山声掛けをし、しっかり寄り添うことで事業所が自分の居場所であることを認識してもらい、自分は必要とされている人間であること、障がいがあってもしっかり幸せになれることを真摯に伝えていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者さんと障がいのない子どもとの交流の場をあまりつくってあげてないことです。	ここ数年は感染予防等の要因があげられます。また、利用者さんの多くが障がいのない子どもとの交流に対し苦手意識を持っていることが考えられます。	近所の公園で遊んでいる子どもと一緒に遊んだり、地域のイベント等に参加をし、障がいのない子どもとの交流がスムーズにできるよう支援します。
2	保護者会等の開催があまりできてないことです。	ここ数年は感染予防等の要因があげられます。事業所開所時間中は利用者さんが多く来られるので、保護者の皆様が集まれる会を催すことが難しいことが原因です。	利用者さんと保護者の皆さんと一緒に過ごせる会をまずは計画する等して対応できればと思います。
3			